

自動運転の実証実験が始まりました

道の駅赤来高原を拠点に自動運転車両で赤名連担地や赤来高原観光りんご園を巡回する自動運転長期実証実験が始まりました。

実験に使用する車両はカーナビで、道路に敷設された電磁誘導線に沿って走行します。

高齢者等の移動手段の確保や外出機会の創出に向けて、自動運転の技術面やビジネスモデルを検証します。 ※実証実験は10月10日まで



遊園地の乗り物みただね

■問合せ
地域振興課 電話76・2864

防災士連絡会を設立

8/25 火



防災士の基本理念は「自助」「共助」「協働」

防災士を中心とした自主防災体制の強化と防災士のネットワークづくりを目的に、防災士連絡会の設立総会を開催しました。

会長に那須照男さん(長谷)、副会長に吾郷由美子さん(小田)と永井正智さん(谷)が着任。

那須さんは「町民の皆さんの防災意識を高め、自主防災組織の構築に向けて全力を尽くしたい。そのために防災士自身が防災スキルを磨き、38人一丸となって防災活動への認識を新たにしていきたい」と話していました。

町では平成29年度から毎年数名の防災士を養成しています。

島根県知事へ要望活動



丸山知事に町の政策課題を説明しました

8月18日(火)に、丸山県知事に対して要望活動を行いました。重点要望項目は次のとおりです。

①飯南病院の医療従事者等の確保
住民が安心して暮らせる医療体制を維持するための継続した医師派遣や、看護師、薬剤師など医療従事者の確保。

②産業振興に必要な支援
水稲新品種の普及やもみ殻培土の全国展開を実現するための普及支援。

琴引フォレストパークスキー場の存続に向けた緊急財政支援。県の冬季スポーツ振興施設としての位置付けと、管理運営に対する支援。

③広域道路網の整備
瑞穂・高野インターアクセスと新銀山街道の未整備区間の道路整備。道路・上下水道などのインフラ整備や維持管理といった公共事業の安定的な財源の確保。

要望に対して丸山県知事からは、それぞれの項目に対して支援策の検討や関係組織と連携した取り組みの強化など、前向きな回答がありました。中でも飯南病院について「町民の皆さんの支えも含めて、大変良い環境で、尽力いただいている。必要な医師数の確保に向けて県としても最大限に努力することの言葉がありました。」

■問合せ
企画財政課 電話76・3941

人事行政の運営等の状況を公表

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和元年度の人事行政の

運営などの状況をお知らせします。なお、給与・職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00~13:00

職員の任免に関する状況

	令和元年度採用	令和元年度退職
一般行政職	7人	4人
医療技術職	1人	0人
看護・保健職	2人	1人
福祉職	0人	0人
技能労務職	0人	3人
合計	10人	8人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (1)安全衛生管理体制

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	3人	5人	1人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (2)職員の健康診断の状況

	対象者数	受診者数
定期健康診断	105人	103人
人間ドック	50人	50人

職員のサービスの状況 年次有給休暇の取得状況(平成31年1月1日~令和元年12月31日)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,492日	1,509日	152人	9.9日	27.5%

職員の研修の状況

区分	受講者数
自治研修所派遣研修	14人
市町村総合事務組合研修	4人

職員の分限及び懲戒処分の状況

分限処分者	懲戒処分者
3人	0人

子育て世代包括支援センターを開設



10月から保健福祉センター内に「飯南町子育て世代包括支援センター」を開設します。

妊娠、出産や子育ての不安や悩み、困りごとなどの相談窓口です。産前・産後のからだやこころ、育児のことなど気になることがあれば、気軽にご相談ください。

安心して出産や育児を迎えられるように、助産師・保健師などの専門スタッフを中心にサポートします。

■問合せ
保健福祉課 電話72・1770



町へ寄付金をいただきました

高木誠さん(千葉県)、中美登里さん(岐阜県)、中亮太郎さん(栃木県)、中努さん(東京都)から、寄付金をいただきました。

高木さんからは「亡くなった弟が飯南町の介護施設で大変お世話になりました。飯南町の医療や介護に活用してください」と話されました。